

2014年12月12日

各位

三井化学株式会社
中国石油化工股份有限公司
上海中石化三井弹性体有限公司

上海中石化三井弹性体有限公司の本格稼働開始について

三井化学株式会社（日本東京都港区、社長：淡輪敏、以下：三井化学）と、中国石油化工股份有限公司（中国北京市、総裁：李春光、以下：Sinopec）の共同出資会社である上海中石化三井弹性体有限公司（中国上海市、董事長：侯勇、以下：SSME）は、建設を進めて参りました世界最大規模のEPT（エチレン・プロピレン・ジェン共重合ゴム）プラントの本格稼働を開始しましたので、お知らせ致します。

EPT は、耐候、耐オゾン性、耐熱・耐寒性、電気特性、耐化学薬品性に優れた合成ゴムであり、自動車部品（グラスランチャンネルやウェザーストリップスポンジ等）、電線ケーブル、その他工業部品に幅広く使用されており、中国では自動車産業、社会インフラ（鉄道等）の急速な拡大に伴い、EPT の需要が大幅に増加しております。

本プラントの稼働開始により、優れた特性・機能と充実した技術サービスで、中国 EPT 市場のニーズにお応えし、高品質の EPT を安定供給してまいります。



(写真左) EPT プラント



(写真右) SSME 玄関口

<SSME 及びプラントの概要>

(1)社名	上海中石化三井弹性体有限公司（SSME）
(2)所在地	中国上海市・上海化学工業区
(3)設立時期	2012年5月28日
(4)資本金	約630百万人民元
(5)出資比率	三井化学50%、Sinopec50%
(6)事業内容	EPTの製造・販売・製品技術サービス
(7)商品名	中石化三井 EPT™
(8)生産能力	7.5万トン／年
(9)採用技術	三井化学メタロセン触媒技術

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

三井化学株式会社 IR・広報部
中国石化上海高橋分公司 外事弁

TEL：03-6253-2100

TEL：+81-21-5871-1309

<三井化学及び Sinopec の概要>

【三井化学について】

三井化学の起源は1912年に遡ります。当時の社会課題であった食糧増産のため、石炭副生ガスから日本で初めて化学肥料原料を生産し、農業の生産性向上に大きく貢献しました。その後、石炭化学からガス化学へとテクノロジーを進化させ、1958年には日本初の石油化学コンビナートを築き、日本国内の産業界を牽引してきました。今では数多くの世界トップ製品を有しており、売上高1兆5000億円、世界27か国、135社以上を抱えるグローバル企業へと成長しています。その事業ポートフォリオは、環境に優しい次世代自動車材料、健康・安心な長寿社会を実現するヘルスケア、食品の安心安全を守るパッケージ、食糧増産に貢献する農業化学品、電子材料、環境エネルギー分野と多岐に亘っています。三井化学は、今後も卓越したソリューションと「新たな顧客価値の創造」を通じ、社会課題の解決に貢献してまいります。

【Sinopec について】

中国石化は中国最大のエネルギー資源化学会社の一社であり、川上から川下までの事業を垂直統合で一括で行っています。その主な事業は、石油・天然ガスの探査・採掘、精製、パイプライン輸送、販売；石油化学製品、化学繊維、化学肥料などの製造、販売、貯蔵、輸送；石油・天然ガス・石油化学製品等及び関連技術の輸出入並びに輸出入の代理；技術の研究・開発・応用です。「美しい生活のために」という企業使命を掲げ、「人、責任、誠実、精細、革新、ウィン・ウィン」という企業の中心的な価値観のもと、資源戦略、市場戦略、垂直統合戦略、グローバル化戦略、差別化戦略及び低炭素グリーン戦略を実行し、世界一流のエネルギー資源化学会社を目指しています。